

学校種別: 専修	学校課程コード: 2255-002-110
所在地都道府県: 静岡県	審査受付番号: 171377
学校名 課程名: 日本建築専門学校 専門課程 建築科	
対象入学年: 平成29年度(2017年度) 修業年限: 4年	新規申請の認定通知日: 2017/03/31
必要な実務経験年数 試験時:最短0年 登録時:最短0年	変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建築設計製図Ⅰ	1年	6
①建築設計製図	建築設計製図Ⅱ	2年	8
①建築設計製図	建築設計製図Ⅲ	3年	4
①建築設計製図	建築CAD	3年	2
		小計	20
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅰ	1年	4
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅱ	2年	4
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅲ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築史	1年	4
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築意匠	3年	4
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学	1年	4
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備	3年	4
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備演習	4年	1
		小計	27
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅰ	1年	4
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅱ	2年	4
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅲ	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学演習Ⅰ	1年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学演習Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築一般構造Ⅰ	1年	4
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築一般構造Ⅱ	2年	4
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄骨構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄筋コンクリート構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	木構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造計画	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料学	1年	4
		小計	34
⑧建築生産	建築施工Ⅰ	1年	4
⑧建築生産	建築施工Ⅱ	2年	4
⑧建築生産	建築工法	1年	4
⑧建築生産	規矩術	2年	4
⑧建築生産	建築積算	4年	4
		小計	20
⑨建築法規	建築法規	2年	4
		小計	4
⑩複合関連科目	工法演習Ⅰ	1年	6
⑩複合関連科目	工法演習Ⅱ	2年	8
⑩複合関連科目	工法演習Ⅲ	3年	6
⑩複合関連科目	建築表現法	2年	2
⑩複合関連科目	生活文化	2年	4
⑩複合関連科目	伝統建築Ⅰ	3年	4
⑩複合関連科目	伝統建築Ⅱ	4年	2
⑩複合関連科目	伝統建築Ⅲ	4年	2
⑩複合関連科目	測量Ⅰ	3年	2

学校種別：専修

学校課程コード：2255-002-110

所在地都道府県：静岡県

審査受付番号：171377

学校名 課程名：日本建築専門学校 専門課程 建築科

対象入学年：平成29年度(2017年度) 修業年限：4年

新規申請の認定通知日：2017/03/31

必要な実務経験年数 試験時：最短0年 登録時：最短0年

変更申請の認定通知日：

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩複合関連科目	測量Ⅱ	4年	2
⑩複合関連科目	建築実習Ⅰ	3年	6
⑩複合関連科目	建築実習Ⅱ	4年	16
⑩複合関連科目	建築社会学Ⅰ	1年	2
⑩複合関連科目	建築社会学Ⅱ	3年	4
⑩複合関連科目	造園計画	3年	2
⑩複合関連科目	共同実習Ⅰ	1年	2
⑩複合関連科目	共同実習Ⅱ	2年	2
⑩複合関連科目	地域計画	3年	2
小計			74

①～⑨計 105

①～⑩計 179

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上 ②③④ 2単位以上 ⑤⑥⑦ 3単位以上 ⑧ 1単位以上 ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種別)」を参照ください(例：上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時：0年 登録時：0年となる)。